

# 普及センターだより

## 土 浦



令和2年7月22日 No. 46  
茨城県南農林事務所 経営・普及部門  
(土浦地域農業改良普及センター)  
土浦合同庁舎第2分庁舎3F  
土浦市真鍋5-17-26  
土浦農業改良普及事業推進協議会  
電話 029-822-7242  
FAX 029-822-7370  
URL <http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nannourin/keiei/tsuchiura/index.html>



左上：開会式

右上：九州大学大学院  
尾崎教授による講演

右下：(左から順に)

①石灰窒素併用型肥料、  
輸出等の長期輸送に適  
した鮮度保持フィルム  
(②個包装、③発泡箱)



## レンコン生産者研修会を開催

令和二年二月一八日、霞ヶ浦環境科学センターにおいて「レンコン生産者研修会」を開催し、レンコン生産者や関係機関など、約一三〇名が参加しました。レンコン生産者研修会は、主に土浦地域の生産者を対象に、普及センターが隔年で開催しています。

今回の研修内容は、九州大学大学院の尾崎行生教授を招き、「レンコンの根茎肥大と日長との関係」と題してレンコンの生理や生態に関する講演を行いました。また、茨城県農業総合センターの各研究所の研究者から、「環境負荷の少ないレンコンの効率的な施肥と土づくり」「レンコンのブランド力強化に関わる研究の取り組み」長期輸送技術・機能性成分の評価・品種識別技術の活用」について、最新の研究報告が行われました。

参加者から、レンコンの生育と温度との関係性や石灰窒素の効果的な使用方法等に関する質問が上がり、活発な意見交換が行われました。普及センターでは、定期的に生産者への研修会を開催して、レンコン産地の更なる発展を支援していきます。

**営農**  
トビックス  
イネばか苗病の撲滅  
にご協力願います

最近、県内においてイネばか苗病の発生が急増しています。本病は発生後の防除ができません。そのため、種子消毒等による適切な防除を行わないと、周囲にまん延する恐れがあります。発生株は成熟せず枯死するため、米の収量が減少します。

育苗時に保菌種子が混入している、浸種・催芽時に出され、健全種子に伝染して発生が多くなります。主な病徴は、育苗時に葉や葉鞘が伸びて徒長し、色が淡くなりす（写真1）。本田に移植後も葉鞘や節間が徒長し、黄化します。株元に多量の胞子を形成し、胞子は風に飛散して開花期の穂に付着し、種もみが感染します。



近年、干し芋や焼き芋の人気が国内外で高まっていることを受け、茨城県では、かんしょ（サツマイモ）の生産拡大を進めるため、規模拡大の意向がある県

**営農**  
トビックス  
「茨城かんしょトッピング」の告知



育苗中の徒長苗（写真1）

○イネばか苗病の発生を防ぐために毎年、種子更新を行います。  
○種子消毒にはモミガードC・DFやテクリードCフロアブルなどの効果の高い薬剤を使用しましょう。  
○苗箱や本田で発生した株は、すぐに抜き取りましょう。抜き取った株は焼却または土中に埋めましょう。  
○初やわら、米ぬか等が翌年の感染源となるため、作業場を清掃し、苗箱を消毒しましょう。  
※農薬を使用する前には、必ずラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認しましょう。

○お問い合わせ先  
補助要件など  
事業の詳細については、茨城県南農林事務所 企画調整課（〇二九一八二二一七〇八三）までお問い合わせください。



内かんしょ農家等を支援する事業を行っています。

○事業の概要  
① 荒廃農地等を活用した農地確保の取り組みに対する補助  
荒廃農地等を再生してかんしょを栽培する農家、農業者団体に対し、農地再生（礫等の障害物除去・樹木の伐根作業・整地・土壌改良等）に係る費用を補助します。

② 規模拡大のための農地貸付協力金  
農地中間管理機構（農地バンク）を通じて、規模拡大意向のあるかんしょ農家又は新規栽培希望者に農地を貸し付ける地権者に対して、協力を交付します。

③ 栽培法の指導  
初めてかんしょ栽培に取り組む場合は、土壌診断による土づくり等、栽培管理について普及センターが指導を行います。

**営農**  
トビックス  
果樹カメムシ類の生態と防除

● 種類や生態  
果樹を加害するカメムシ類は、チャバネアオカメムシ（写真1）、クサギカメムシ（写真2）やツヤアオカメムシです。四〜五月頃に越冬場所から離脱すると、春から夏はサクラやクワ、キリ等、秋はスギやヒノキと餌となる植物を次々に移動します。八〜九月頃になると産卵して世代交代し、一〇月頃には越冬場所に移動します。チャバネアオカメムシは山林の落葉の下、クサギカメムシは家屋の隙間や樹皮の下、ツヤアオカメムシは樹冠内等で越冬します。

● 防除対策  
カメムシは餌場を見つけると集合フェロモンを放出して、他のカメムシを呼び寄せる性質があります。園内でカメムシを見つけた場合は直ちに登録薬剤を散布し、他のカメムシが集まるのを未然に防ぎましょう。なお薬剤散布は、カメムシの活動が鈍い早朝に行うと良いでしょう。薬剤防除以外では、多目的防災網（六mm目または九mmクロス目以下）でほ場全体を覆うことや、果実の袋がけも有効です。

●病害虫発生予報より  
茨城県病害虫防除所では毎年、チャバネアオカメムシの越冬数や予察灯誘殺数(四〜一〇月)を調査しており、本年は、越冬成虫数・越冬地点率ともに多い年にあたります。そのため、特に越冬世代成虫の飛来時期(四〜七月)は十分注意してください。



写真1  
チャバネアオカメムシ(成虫)

写真2  
クサカメムシ(成虫)

※写真出典…茨城県病害虫防除所ホームページ「病害虫資料室」

**営農**

**トピックス**

カーネーションの安定生産へEODヒーティング技術について

花き生産供給力強化事業検討委員会(事務局・日本花き生産協会)が主体となり、土浦市およびかすみがうら市のカーネーションほ場において、令和元年度にEODヒーティング実証を行いました。EODヒーティング

とは、時間帯ごとに温度を変え、システム(多段式サーモスタット)を活用し、日没後(end of day: EOD)数時間温度を上げて管理する(模式図参照)ことで、採花本数や切花品質の確保と使用燃料の削減を図る技術です。実証区では、採花本数は慣行区より上回りましたが、切花重では慣行区より劣り、ポリューム不足が感じられました。使用燃料の削減効果については、引き続き検討することとなりました。輸入が半数近くを占めるカーネーションにおいて、国内産地が連携して安定生産を実現させるこの様な取組は始まったばかりです。

今後は、温度だけでなく、肥培管理や炭酸ガス、湿度など、栽培環境を取り巻く多くの要因を統合して制御することによって、安定生産ができるような技術の組み立てが期待されます。

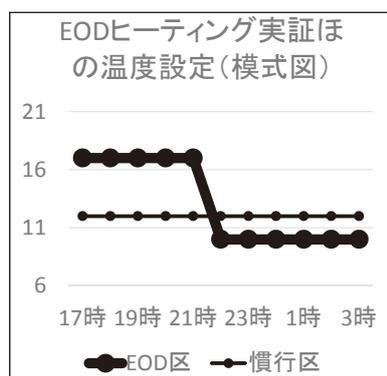


図 EODヒーティング実証ほの温度設定

## まちからむらから

**土浦市**  
土浦ブランド認定品を販売、まちの賑わいが期待される!

土浦市では市の魅力発信、ブランド力向上を目的に「土浦ブランド」認定品のPR活動を積極的に進めてきました。

昨年、開催されたイオンモール土浦、都内での土浦ブランド認定品販売会は大変好評を博し、「図書館フェス」に合わせ一〇月に駅前で行われた販売会では市民から「どの商品にも土浦の魅力が詰まっている」と高い評価を頂きました。

認定品は、土浦ブランドパンフレットに掲載のある各店舗で、また一部はきらら館や、土浦市小岩田西にオープンしたサンフレッシュ土浦店などで販売されています。土浦市ではさらに土浦の魅力の食材を使ったブランドイメージメニューを作成、まちの賑わいづくりに力を入れています。認定品、メニューの詳細については、土浦市役所HPをご覧ください。

## かすみがうら市

市内で果樹農家を目指す研修生及び受け入れ農家を募集しています!【第三者継承促進事業】かすみがうら市では、市内で果樹農家をを目指す研修生及び受け入れ農家への支援を行っています。

ており、昨年度に本事業による研修を修了した一名の方が、市内で独立就農を目指し準備を進めているところです。

市では、今年度も引き続き、果樹類の農業研修(無料・条件あり)を希望する方(二名程度/年)及び研修生を受け入れる市内の果樹栽培を主業とする専業農家の方(月額五万円の助成金の交付:条件あり)を募集しています。

詳しくは、かすみがうら市農林水産課HPをご参照いただくか、かすみがうら市農業再生協議会(農林水産課内、〇二九一八九七一一一一)までお問い合わせください。

## 石岡市

### 新たな研修コースを開設

朝日里山ファームは、今年度新たに果樹・施設園芸コースを開設しました。

当コースでは、果樹や施設園芸農家の減少に歯止めをかけ、生産農家の増加を目指すため、五年後に三組(名)の新規就農を目標にしています。

現在、既に一名の研修生が辻いちご部会の農家の指導・支援を受けながらイチゴ栽培の研修に取り組んでいます。

なお、従来の有機農業研修コースで一組、またJAやさとゆめファームでも一組の四名が研修を開始しました。

石岡市の新規研修生五名は、地域農業の担い手として期待されています。

どうぞよろしく  
お願いいたします



今年度、新たに次の皆さんが農業三士として茨城県知事の認定を受けました。

**女性農業士**

石岡市 野村 直美氏



(養鶏(卵))

こだわりの平飼いたまごの生産と、多様な販売を実践しています。飼育とあわせ、直美氏はカステラ等加工部門を担当して養鶏経営を支えています。

**青年農業士**

かすみがうら市 久松 永幸氏



(果樹)

高品質なブドウ、ナシ、クリの生産に努め、直売を行っています。農業後継者の仲間と農産物PRを行う等、地域農業の活性化にも貢献しています。今後の活躍が期待されます。

◆ありがとうございます

今年度、以下の皆さんが退任されました。長年にわたりご尽力いただき、ありがとうございました。

**女性農業士**

石岡市

高橋 美和氏

**青年農業士**

かすみがうら市

酒井 優一氏



茨城県では、優れた経営感覚を持ち、地域農業の振興をすすめる農業者を農業経営士に、農業経営と農村生活の向上に意欲的に取り組む女性農業者を女性農業士に、また、将来の地域農業の担い手となる農業青年を青年農業士にそれぞれ認定させていただき、地域農業の振興・発展のため様々な場面で活躍いただいています。農業三士とは農業経営士・女性農業士・青年農業士の総称です。

**いばらき農業アカデミーのご案内**

茨城県では農業の技術向上や経営発展に意欲のある方、農業を始めて間もない方、将来就農を目指す方など幅広い方を対象に、総合的な学びの場を提供する「いばらき農業アカデミー」を開設しています。講座内容などの詳しい情報はホームページなどをご参照ください。



ホームページ



Facebook

**問い合わせ先**

いばらき農業アカデミー事務局(農業総合センター内)  
TEL 0299-45-8321 FAX 0299-45-8350

**令和3年度茨城県立農業大学校  
入学生募集のお知らせ**

県立農業大学校では、高校等の卒業生(若しくは見込者)、農業大学校卒業生、短期大学等の卒業生(若しくは見込者)を対象に学生を募集しております。

区分	学科名	募集人員
学 科	農学科	40名
	畜産学科	10名
	園芸学科	30名
研 究 科		10名

**問い合わせ先**

茨城県立農業大学校  
TEL 029-292-0010 FAX 029-292-0903

